



赤ちゃん肌着の名前入りサービスで 差別化をはかり販売量を増大する

当社の中核事業であるベビー服販売において、拡大する贈答用品市場での差別化が課題となっているが、大手メーカーとの競合では価格や知名度で勝つことは難しい。そこで、商品に当社ならではの付加価値を付けて、ギフト商材としてより魅力を高める意図から、赤ちゃんの名前を刺繍するサービスに目を付けた。また、販売量増加に伴う安全面でのリスクに対応するため、最新の検針機を導入する。

1 本事業への取り組みの経緯

平成24年度においても、「厳しい品質管理とコスト競争に対処するために、効率的な縫製設備の導入をはかる」という事業名で、本補助事業の採択を受けた。多品種・小ロット・短納期に応え、コスト競争力を強化するため、最新式ロボットミシンなどの設備を導入。高効率の生産体制が確立でき、経営資源をベビー服の自社ブランドである「マルマイユ」に集中することが可能となった。その結果「マルマイユ」のブランド力強化の一環で、本事業に取り組むこととした。



2 実施内容

まず刺繍機を導入し、最小刺繍サイズや最速刺繍速度を求めるための稼働テストを実施。これまでできなかった刺繍サービスを開始し、当社製品に付加価値を加えることができた。その後、エア駆動式全自動転写プレス機を導入し、転写プリントシートで作成した名前シートやロゴ、キャラクターなどを生地貼り付けることで、刺繍機同様競合他社との差別化に繋がった。また、製造量が増加する中、お客様に安心安全の製品を届けるため、W チェック型コンベア式検針機を導入。これまでは検針部分が単体のものを使用していたが、この検針機は検針部分が2ヶ所あり、金属検出機能の信頼性が飛躍的に向上。検出する金属最高感度がΦ0.8~1.0mmという高感度設定で、誤作動による金属未探知を防ぐことができ、大手アパレルなどからも安全面で太鼓判を得た。



3 取組成果・波及効果

平成24年度に本補助事業で取り組んだ工場内の効率化により、大幅な生産能力の向上や工程時間の短縮に繋がり、当社の主力事業の一つであるOEM生産において大きな効率化を果たすことができた。この効率化により、25年度事業である自社ブランド「マルマイユ」のベビー服製品において、競合他社との差別化に着手することが可能となった。そして差別化により、これまで産婦人科への卸売のみであった販路が、インターネット通販による小売や有名百貨店への卸売と徐々に広がっている。



代表取締役社長

井上 義松

今後の展望・活動予定は?

現在、台湾企業との商談を進めており、近々注文をいただける見通しです。東京都で行われた展示会への出展がきっかけでスタートした商談ですが、今後も海外への輸出を視野に積極的にPRしていくつもりです。また、現状は百貨店向け販売は10店程度ですが、さらなる販路拡大の取組を進めていきます。主力事業である大手メーカーのOEM生産を着実に遂行した上で、「マルマイユ」では攻めの営業を展開していきます。

事業者

株式会社美泉

代表者

井上 義松

所在地等

〒859-0164 長崎県諫早市小長井町牧222-47

TEL 0957-34-3213

FAX 0957-34-3264

<http://bisen.biz/>

E-mail:mail@bisen.biz



設立年月

昭和58年11月

資本金

1,000万円

業種

繊維工業

従業員数

19名